

児童厚生施設である 児童館の在り方は

答 人材活用も含め検討を始めている



大城 勝 議員

問 町内4児童館を、食事や食育等もできるように機能拡大し、子どもの貧困問題解決にも対応可能な施設に強化できないか。

副町長 子どもの貧困対策の取り組みにおいても児童館の活用が有効と考えられる。その方法等については検討を始めている。

問 町行政は、児童厚生員が地域との連携をしやすいするための施策を講じる必要がある。地域の人材、例えば民生委員や老人会、婦人会、PTAなどに呼びかけ、児童館を盛り立てるような対策が取れないか。

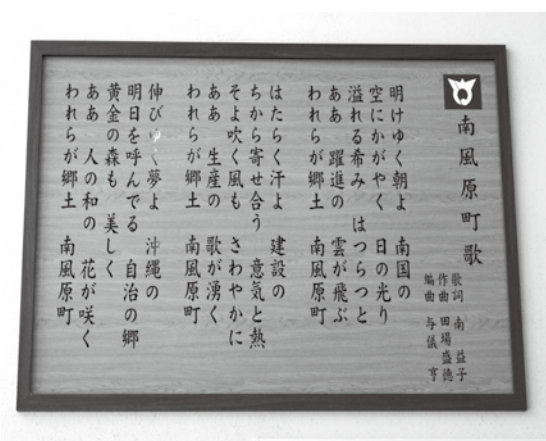
民生部長 子どもたちの居場所づくりとして、児童館の活用は大変有効な部分がある。一番大事なのは人材だと思う。他自治体では児童センターを活用し取り組んでいる。本町もそのような取り組みが可能か、児童館

や人材の活用を検討する。

町歌・校歌の普及を

問 町歌、幼小中学校の町民への普及はまだまだの感がある。インターネットを通して町民への音声提供できないか。

副町長 さつそく町ホームページに町歌の楽譜と音声ファイルを公開した。各幼小中学校の校歌も、各学校のホームページなどで配信できるよう検討する。



町民ホールに掲げられている町歌

津嘉山北土地地区画整理事業の進捗は

問 津嘉山北土地地区画整理事業の進捗状況はどうか。事業の完了見通しはいつか。

経済建設部長 事業期間は平成30年まで、残額は28%の約85億円となる。平成35年度までの施工期間の延長を考えている。

「町民の日」の制定を

問 昭和55年4月1日は、南風原町が村から町へと町制が施行された日である。その日を「町民の日」と位置付、町の今後の発展を願い祝えないか。

副町長 本町の表彰及び顕彰に関する規則で、毎年4月1日は町制施行記念日と規定している。